

練習の成果を発揮！ 地域で盛り上げる大運動会

シリーズ まちの学校 VOL. 11 忠類小学校
毎月1校、町内の小・中学校を紹介します。

6月1日、忠類小学校の運動会が開催され、児童や保護者など多くの地域住民が参加。保護者による玉入れや綱引きなど多彩な競技が行われ、熱い声援が会場に響いていました。



①忠類小学校歌などを演奏した鼓笛パレード②気合を入れて踊った「Y OSAKO Iソーラン」③昔を思いだし力いっぱい走るお父さん



世代を超えた交流

忠類小学校の運動会は、学校のみならず保護者が参加する世代交流の一大イベントとなっています。

赤組と白組による気合いの入った応援合戦に続いて競技がスタート。徒競走では児童一人ひとりが懸命にゴールを目指し、ゴールにはわが子の

勇姿を収めようと、ビデオカメラを手にした保護者が並んでいました。

児童が赤白に分かれ競い合うだけではなく、保護者や地域の方も参加し、運動会を盛り上げていました。

保護者による徒競走や玉入れなどに「がんばれ！」と応援する児童の姿には、地域の一体感を感じました。

忠類小学校 今昔物語



▲旧忠類小学校当時の校舎



▲現在の忠類小学校

忠類小学校は、明治41年の開校以来、今年で105年目を迎えました。その間に校舎は開校当初のわら葺きの小屋から、近代的な教育設備を整えた現校舎まで5代目を数え、この学舎を築立った児童の数は4000人を超えます。

教育活動は、戦前の教育から、戦後の個性を生かした自由な教育に、大きく転換しました。

なかでも、忠類小学校を代表する実践活動に作文教育があります。昭和30年代に「学級文集」を通じて子どもや両親、学校との結びつきを図った文集「とねっこ学級」は豊かな情操を育てる教育活動として全国の教育関係者にも紹介されました。

その伝統を受け、忠類小学校の教職員が進めてきた教育実践活動は高く評価され、昭和57年に十勝管内教育実践校の表彰を受けました。

忠類小学校 の沿革

- 1947年（明治41年）茂寄村明道小学校歴史教育所忠類特別教育所に認可
- 1921年（大正10年）広尾郡忠類尋常小学校として開校（児童数71人）
- 1947年（昭和22年）学制改革により大樹村立忠類小学校となる
- 1949年（昭和24年）分村により忠類村立忠類小学校となる
- 1958年（昭和33年）開校50周年記念式典を挙（児童数最大480人）
- 1961年（昭和36年）忠類小学校の校歌を制定
- 1978年（昭和53年）開校70周年を記念し、校旗を作成
- 2008年（平成20年）開校100周年記念式典を挙

学校概要

学校長 千葉 正夫
教員数 16人
学級数 6学級
(うち支援学級3学級)
児徒数 115人

※概要は平成25年5月1日現在